

# 13 吉野山の鬼

助動詞④ 推量(1)

50

## 1! 本文

昔、吉野山の日蔵の君、吉野の奥に行ひ歩き給ひけるに、丈七尺ばかりの鬼、身の色は紺青の色にて、髪は火のごとくに赤く、首細く、胸骨はことにさし出でて、いらめき、腹ふくれて、脛は細くありけるが、この行ひ人にあひて、手をつかねて泣くことかぎりなし。

これは何事する鬼ぞと問へば、この鬼、涙にむせびながら申すやう、

我は、この四五百年を過ぎての昔人にて候ひしが、人のために恨みを

残して、今はかかる鬼の身となりて候ふ。さてその敵をば、思ひのこ

とくにとり殺してき。それが子、孫、曾孫、玄孫にいたるまで、残り

なくとり殺し果てて、今は殺すべき者なくなりぬ。されば、なほかれ

空欄に本文中の語句を入れよ。(2点×5)

日蔵上人が 1 の山奥で、青色の 2 に手を合わせて泣きつかれた。

上人がお前はどのようなことをする鬼か、と問うと、鬼は 3 にむせびながら言う。私はこの 4 前の昔の人間だが、人を恨んで鬼になっている。恨んだ敵を殺し、その子孫も全員殺した。今は殺した彼らが 5 るのを見つけて殺そうと思うが、殺す方法がない。

4	1
	2
	3
5	

## 4! 設問

- ① 文法 —— 線部1・2の助動詞の、ここでの活用形を答え、文法的意味として最も適当なものを、次から選び、記号で答えよ。(3点×2)
- ア 推量 イ 意志 ウ 可能 エ 当然  
オ 命令 カ 適当 キ 仮定婉曲
- ② ① 文法 —— 線部Aの意味として最も適当なものを、次から選び、記号で答えよ。(4点)
- ア あちこちと探訪し イ 祈りながら歩き  
ウ 修行をして回り エ 引退して住み
- ③ ① 文法 —— 線部Bの会話部分はどこから始まるか。その最初の五字を抜き出して答えよ。(3点)
- 1 形 2 形

らが生まれかはりまかる後までも知りて、とり殺さむと思ひ候ふに、つぎつぎの生まれ所、つゆも知らねば、とり殺すべきやうなし。

【語注】 \* 吉野山 今の奈良県吉野郡の山々。修験道の聖地。  
\* 尺 尺貫法の長さの基本単位。約三〇・三センチメートル。  
\* 日蔵 人名。修験道の上人。  
\* 曾孫 玄孫の子と、さらにその子どものこと。

## 重要語彙

(2点×3)

- Q ー線部①～③の本文中の意味を選び、記号を○で囲め。
- ① ことに  
ア 特に・とりわけ  
イ ふつうと違って  
ウ ほかのもの  
エ 違うもの
- ② 申す  
ア 申し上げる  
イ お祈り申す  
ウ してさしあげる  
エ 叫び申す
- ③ 候ふ  
ア お任せ申し上げます  
イ お伺いする  
ウ ござります  
エ 参上する

## 文法チェック

(4点)

- 推量(1) ■  
「む・むず」  
意味 推量・意志・可能・当然・命令  
適当・仮定婉曲 接続 未然形
- 「べし」  
意味 推量・意志・可能・当然・命令  
適当
- 接続 終止形(ラ変型には連体形)  
「む」「べし」の人称による訳し分け  
・主語が一人称→意志  
・主語が二人称→適当  
・主語が三人称→推量
- Q ー線部Xの意味と活用形を答えよ。
- |   |  |
|---|--|
| 形 |  |
|---|--|

## @ポイント! 3

## 5! Let's チャレンジ

次の傍線部の助動詞の文法上の意味と、活用形を答えよ。(1点×4)

- ④ ① 線部C・Dを現代語訳せよ。(4点×2)
- ⑤ ① 内容 —— 本文の内容に合致するものとして最も適当なものを、次から選び、記号で答えよ。(5点)
- ア 日蔵上人は、吉野山で鬼に襲われそうだったので、逃れようと祈禱を行った。  
イ 鬼は日蔵上人に、敵に襲われたので殺そうと思ったが、敵はすでに逃げたと話した。  
ウ 鬼は日蔵上人に、自分の業の深さに責められ苦しんでいると話し出した。  
エ 日蔵上人は、手を合わせている鬼に仏教を説く際、わかりやすく説明した。

- ① 迎へに人々まうで来むず。(竹取)  
② 男はこの女をこそ得めと思ふ。(伊勢)  
③ 心あらむ友もがな。(徒然)  
④ この一矢に定むべしと思へ。(徒然)
- |      |      |      |      |
|------|------|------|------|
| (意味) | (意味) | (意味) | (意味) |
| 形    | 形    | 形    | 形    |

形
---

形
---

形
---

形
---